

イベントなど詳細情報

◆植物園

今年は長居公園・長居植物園も特別協力！

自然史フェスティバルの開催にあわせて、花と緑と自然の情報センター入口エリア付近で自然の魅力に触れていただける特別なブース出展や展示を実施します。フェスティバルの入場前から、身近な自然や生きものへの興味・関心を深めていただける内容となっています。当日はセレッソ大阪のブースも出展予定です。ぜひ入口エリアからゆっくりとお楽しみいただき、自然史フェスティバルならではの学びと発見に満ちた一日をお過ごしください。

◆自然観察会・講習会

<11月14日（土）>

「はじめての鳥みたい（隊）！（探鳥会）」

長居植物園内でバードウォッチングをします。野鳥を観察することが初めての方、まだあまり経験のない方も大歓迎です。

日 時：11月14日（土）10：30～12：00（雨天中止）

開催場所：長居植物園

参加費：無料

定 員：先着40名（参加受付は10：00から開始し、定員に達し次第終了）

主 催：日本野鳥の会大阪支部

<11月14日（土）・15日（日）>

「谷口高司鳥絵工房『谷口高司のタマゴ式鳥絵塾』」

野鳥図鑑で有名なイラストレーター、谷口高司氏による楽しい鳥の絵の描き方講習会です。参加者にはオリジナル野鳥缶バッジをプレゼントいたします。

日 時：

11月14日（土）11：00～12：20 小学6～3年生：ヤイロチョウ

14：00～15：20 大人～中学生：シジュウカラ

11月15日（日）11：00～12：20 小学6～3年生：シマエナガ

14：00～15：20 大人～中学生：ヤイロチョウ

開催場所：自然史博物館 集会室

参加費：1,000円（画材代）

定 員：各回先着30名（参加受付は各回30分前から開始し、定員に達し次第終了）

そ の 他：画材の持ち込み不可、写真撮影・録音録画禁止、保護者の同席不可。小学3年生以上であればどの回も受講できますが、講座は対象年齢に合わせた内容で実施します。

主 催：谷口高司鳥絵工房

「長居公園の生きものを探そう」

長居公園で植物の観察や昆虫などの生きものを探してみましょう。友の会評議員がやさしく案内するので、小さなお子さんから大人まで参加できます。（小雨決行）

日 時：

11月14日（土）11：00～12：00 14：00～15：00

11月15日（日）11：00～12：00 14：00～15：00

開催場所：長居公園

参 加 費：無料

定 員：各回先着 40 名（参加受付は各回 30 分前から開始し、定員に達し次第終了）

主 催：大阪市立自然史博物館友の会

◆講演会・シンポジウム

<11 月 14 日（土）>

講演会「もっと気軽に植物園！～植物園の楽しみ方～」

咲いている花を見るだけが植物園の楽しみ方じゃない。植物園&温室マニアとして、植物園の中の人として全国・各国の植物園の楽しみ方や視点を紹介します。

日 時：11 月 14 日（土）14:00～16:00

開催場所：自然史博物館 講堂（YouTube を使った同時配信・見逃し配信も行います）

講 師：宮内元子氏（神戸市立森林植物園）

参 加 費：無料

定 員：先着 170 名（参加受付は講堂前で 13:30 から開始し、定員に達し次第終了）

主 催：関西自然保護機構

<11 月 15 日（日）>

野鳥の会講演会「ヤイロチョウ 『幻の鳥』から『未来をつなぐ鳥』へ」

世界のヤイロチョウについての貴重な講演と、日本でのヤイロチョウの分布変化の最新動向を踏まえて、「幻の鳥」から「保全すべき身近な鳥」へという新たな視点を提示し、ヤイロチョウを通じて自然環境の変化と保全のあり方について考えます。

日 時：11 月 15 日（日）10:00～12:00

開催場所：自然史博物館 講堂（YouTube を使った同時配信・見逃し配信も行います）

講師・登壇者：

松村伸夫氏（生態系トラスト協会 会員）

中村滝男氏（生態系トラスト協会 会長）

納家 仁氏（日本野鳥の会大阪支部 支部長）

参 加 費：無料

定 員：先着 170 名（参加受付は講堂前で 9:30 から開始し、定員に達し次第終了）

主 催：日本野鳥の会大阪支部・公益社団法人生態系トラスト協会

プログラム：

第 1 部 講演

「ヤイロチョウはどこからやってきた？～ヤイロチョウの起源を考察する～」

講師：松村伸夫氏（生態系トラスト協会 会員：世界のヤイロチョウを撮影する写真家）

「ヤイロチョウの過去・現在・未来について」

講師：中村滝男氏（生態系トラスト協会 会長）

第 2 部 パネルディスカッション

「ヤイロチョウの分布拡大による新たな問題への対応」

上記 2 名の講師に加え、日本野鳥の会大阪支部・納家 仁氏を交えたパネルディスカッション。近年の分布拡大を踏まえ、保全と観察・撮影との両立、地域社会との連携、今後求められる保護活動などについて議論します。

野鳥の会講演会「どうなるコアジサシとセイタカシギの未来 ―大阪湾岸での生息地の保全や創出に向けて―」

コアジサシは、来年も大阪湾に帰ってくるだろうか。セイタカシギが子育てできる湿地を、未来へ残せるだろうか。 ― 全国のコアジサシやセイタカシギの現状、兵庫や奈良でのコアジサシ保護の取り組み、大阪府域における両種の現状などを踏まえ、大阪湾岸部における水鳥の生息地の保全や回復に向けての課題などを考えます。

日 時：11月15日（日）14:00～16:00

開催場所：自然史博物館 講堂（YouTube を使った同時配信・見逃し配信も行います）

講師・登壇者：

奴賀俊光氏（公益財団法人日本野鳥の会自然保護室）

小林由香氏（日本野鳥の会ひょうご 保護グループ）

山田瑠美氏（日本野鳥の会奈良支部 支部長）

納家 仁氏（日本野鳥の会大阪支部 支部長）

参加費：無料

定 員：先着 170 名（参加受付は講堂前で 13:30 から開始し、定員に達し次第終了）

主 催：日本野鳥の会大阪支部・公益社団法人大阪自然環境保全協会

プログラム：

第1部 講演

「コアジサシ全国調査 2026 から見えてきたこと」

講師：奴賀俊光氏（日本野鳥の会自然保護室）

第2部 パネルディスカッション

「大阪湾岸でのコアジサシやセイタカシギの生息地の保全や創出について」

話題提供：

兵庫や奈良でのコアジサシ保護の取組（日本野鳥の会ひょうご・奈良支部）

大阪府域におけるコアジサシとセイタカシギの現状（日本野鳥の会大阪支部）

ディスカッション 大阪湾岸での生息地の保全や創出について現状や課題を共有